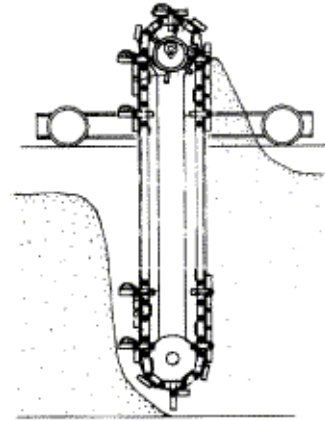


〈図-1〉



〈図-2〉



〈図-3〉

- 1、〈図-1〉は従来の直線開放型、〈図-2〉はクレーン式往復攪拌プラントのそれぞれの平面図です。〈図-2〉には各槽を仕切る擁壁が存在していない為建設コストを低減出来ます。また〈図-1〉の右側に存在している「移動台車」も不要になります。
- 2、〈図-3〉は攪拌装置の概略構造図です。
- 3、攪拌羽根は機械の進行方向によって回転方向が逆転します。
- 4、攪拌羽根は作業面(進行方向の前方)では水平になり、非作業面(「戻り」と称しています)では垂直となって回転します。
- 5、攪拌装置の最上部及び最下部で攪拌羽根が回転する事により上記状態を作ります。
- 6、攪拌羽根の回転機構は回転用ガイドレールと復帰動作用カムで構成し、復帰動作用カムは油圧シリンダ作動させます。
- 7、攪拌部の横移動をスムーズにする為の「回転プロペラ」が下部軸に装着してあります。回転プロペラの駆動は攪拌羽根駆動軸よりチェンで伝達します。